

令和5年度事業計画

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の終息は見えず、“コロナ禍”は日本社会全体で今なお続いています。利用者・職員の命と健康、そして事業の運営・経営を守り続けるためのコロナとの闘いに終わりが見えないことから、介護サービス事業者にとって令和4年度が厳しい1年となっていることは言うまでもなく、明倫福祉会においてもそれは例外ではありません。当法人においても、各施設やサービス事業所でクラスターが発生して施設の閉鎖や事業所の営業休止を余儀なくされたり、職員が感染または濃厚接触のため一定期間勤務できなくなったことで労働力の確保に苦慮したりといったことが幾度となくあり、今後も予断を許さない状況が続いております。また、令和4年度は物価高騰による水道光熱費などの経費増大や最低賃金の見直しによる人件費増大もありました。コロナの影響で収益の確保に苦戦を強いられる中、介護報酬の増額改定がないまま経費だけが増す状況で、当法人の収支も大きな打撃を受けているところです。こういった状況を鑑みれば、令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第2類から第5類に引き下げられる見込みであることを受け、法人として新型コロナウイルスに対してどのような感染対策を講じていくのか、また、限られたマンパワーをいかに効率的に活用し、一方で経費を節減していくのが経営・運営上の大きな課題となってまいります。

まず、新型コロナウイルスの感染対策として、利用者の受け入れ可否や隔離、感染防止の具体的な方法、さらには職員の出勤の取り扱いに対する考え方等については、利用者や職員の健康管理のみならず法人の経営・運営にも大きく影響するところであることから、国や都道府県、市町村の動向を注視しながら、母体である医療法人明倫会と情報共有・連携のうえ早急に決定してまいります。

次に、限られたマンパワーの活用について、ひとつは多様な人材を活用できる体制を築いてまいります。例えば、外国人技能実習生や高齢職員、子育て中の職員など、それぞれの状況に応じてワーク・ライフバランスと取りながら働き続けることができる給与体系や勤務体制の見直しを柔軟に進めていくことが必要と考えます。また、業務の負担軽減と効率化のために介護ロボットの活用とICT化を進めてまいります。すでに導入している見守りセンサーやインカムを追加導入するほか、その機能を余すことなく活用するための職

員への啓発を進め、さらに現在導入している電子カルテによって集約できるデータを分析し、必要な時に必要な介護を効率的に提供できる方法の模索も進めてまいります。くわえて、令和4年度に医療法人明倫会とともに進めてきた在庫管理（SPD）の対象物品の拡大や、管理方法の全部署・全職員への浸透を図ることで、医療・介護に従事する職員がケアに専念できる時間増やすための効率化も進化させていきたいと考えております。

最後に、増大する経費への節減対策として、職員への経費節減に対する啓発と同時に、医療法人明倫会と社旗福祉法人明倫福祉会の二つの法人スケールのメリットを活かした備品等の一括購入、SPDによる在庫の無駄の削減など進めてまいります。

変化が激しく年々厳しさを増す社会情勢・経営環境にありますが、当法人の理念にもあるように、私たちは地域の皆様の「その人らしく生きる」を支え続けていくことを使命としており、けしてそれがぶれることがあってはなりません。どのような状況下にあっても、社会の変化に敏感に対応しながら常に専門性の高い愛のあるサービスを提供し続けることができるよう、法人全体、職員をあげて令和5年度も尽力まいります。

運営拠点一覧表

拠点名	サービス種別	事業所名	定員	職員数（令和5年2月1日現在）						
				正規職員	嘱託職員	契約職員	短時間職員	登録ヘルパー	派遣社員	合計
ぼー愛	特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設ぼー愛	50	43	1	2	21	0	2	69
	短期入所生活介護	介護老人福祉施設ぼー愛	20							
	通所介護	介護老人福祉施設ぼー愛	45	7	0	1	13	0	1	22
	訪問介護	社会福祉法人明倫福祉会 ヘルパーステーションさんぶら	—	4	0	2	0	4	0	10
	居宅介護支援	社会福祉法人明倫福祉会 介護老人福祉施設ぼー愛	—	2	1	0	1	0	0	4
		ぼー愛三宮ケアプランセンター	—	3	1	0	3	0	0	7
	地域包括支援センター	三宮あんしんすこやかセンター	—	4	0	0	1	0	0	5
		合計	63	3	5	39	4	3	117	
愛しや	特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設愛しや	80	56	1	9	26	—	9	101
	短期入所生活介護	介護老人福祉施設愛しや	20							
	居宅介護支援	高齢者総合福祉施設愛しや	—	2	2	1	0	—	0	5
	訪問介護	社会福祉法人明倫福祉会 ヘルパーステーションあしや	—	11	0	5	1	1	0	18
			合計	69	3	15	27	1	9	124
愛しや老健	介護老人保健施設	介護老人保健施設愛しや	80	43	2	7	26	—	4	82
	短期入所療養介護	介護老人保健施設愛しや	5							
	通所リハビリテーション	介護老人保健施設愛しや	45	3	0	8	6	—	5	22
	訪問リハビリテーション	介護老人保健施設愛しや	—	—	—	—	—	—	—	0
			合計	46	2	15	32	0	9	104

事業計画

拠点名	愛しや
実施事業	特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、居宅介護支援事業、訪問介護

【運営目標】

愛しや拠点では、特養・短期入所生活介護を合わせた入所部門として空床を最小限に抑えてベッドをフル稼働し、居宅介護支援及び訪問介護の在宅部門を人員を補強して、利用者数・サービス提供時間数を増やすことで収益の拡大を図ります。費用の節減について、特に入所部門において介護ロボットやICT活用によって業務効率化を図り残業による時間外手当を減らすこと、また同様に職員の負担軽減を図って雇用を定着させ欠員補充によって生じる採用コストを減らすことを目標としています。また、備品等を法人グループの一括購入とすることでコスト削減を図り、SPDによる無駄な在庫の削減も進めてまいります。

①入所部門：外国人技能実習生や高齢職員、子育て職員など人材が多様化しているため、それぞれの働き方の中でワークライフバランスがとれるよう柔軟な勤務体制が取ってまいります。また、多様な人材が従事する中でケアの質が落ちることのないよう、資格取得支援のほか施設内及び施設外の勉強会・研修の機会を充実させ、指導・教育できる体制を取ってまいります。

②居宅介護支援事業：前年度末よりケアマネを増員しているため、すべてのケアマネが一日も早く最大件数担当できるように新人ケアマネの指導・教育を進め、保有件数と法人内のサービス紹介率も上がるようにしてまいります。

③訪問介護：営業時間や曜日を拡大し増員しているすべてのヘルパーがいつどのような利用者に対してもフル稼働できるよう指導・教育や報連相の体制を整備してまいります。

【サービス別稼働目標】

特別養護老人ホーム (平均利用率)	令和2年度実績 92.9%	令和3年度実績 93.9%	令和4年度見込 91.0%	令和5年度目標 94.5%
短期入所生活介護 (平均利用率)	令和2年度実績 130.3%	令和3年度実績 126.9%	令和4年度見込 142.5%	令和5年度目標 130.0%
特養+短期入所 (平均利用率)	令和2年度実績 100.4%	令和3年度実績 100.5%	令和4年度見込 101.3%	令和5年度目標 101.5%
居宅介護支援事業 (月平均保有件数)	令和2年度実績 140.3件 (うち予防20.4件)	令和3年度実績 149.3件 (うち予防24.4件)	令和4年度見込 167.9件 (うち予防25.6件)	令和5年度目標 215件 (うち予防35件)
訪問介護 (月平均訪問時間数)	令和2年度実績 912.0時間	令和3年度実績 1099時間	令和4年度見込 1265時間	令和5年度目標 1500時間

【施設・設備整備計画】

上半期		下半期	
物件名(購入・工事)	予算(千円)	物件名(購入・工事)	予算(千円)
勤怠システム	1,000	電動ベッド	5,000
ウッドデッキ補修	3,000		
LED電球	6,000		

事業計画

拠点名 ぼー愛

実施事業 特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、居宅介護支援事業、訪問介護、地域包括支援センター

【運営目標】

ぼー愛拠点では、昨年コロナの影響を受けましたが、早い回復により影響は最小限に留めたと思います。ただし、光熱費をはじめ物価高の影響は避けられず、事業費は増えたため施設全体でコスト削減に取り組みを始めています。また、人材確保においてはベトナムからの技能実習生と特定技能の採用と育成に注力し日本人スタッフとのコミュニケーションもよくなっていると感じます。

特養ショートにおいては、令和5年度も感染対策を実施しながらベッドコントロールすることで稼働率を維持していきます。また、看取りケアを充実させ、最期まで満足度の高い介護を目指していきます。在宅部門においてはデイサービスでは、90%以上の稼働率がありましたが、言葉使いや、運転のトラブルなどで指摘を受ける事もありました。職員ひとり一人の接遇の向上に取り組んでいき、サービスを向上させます。また、訪問介護職員やケアマネなどの人材を確保し在宅サービスをさらに強化していきたいと考えています。

事業所全体にICTの設備を導入したことで愛しやをはじめグループ間の活用が促進できるように定期的な運営管理を実施していきます。また、より良い職場環境を目指してハラスメントやメンタルヘルス研修を実施し、離職の防止にも努めていきます。

【サービス別稼働目標】

特別養護老人ホーム (平均利用率)	令和2年度実績 93.5%	令和3年度実績 93.8%	令和4年度見込 94.0%	令和5年度目標 95.0%
短期入所生活介護 (平均利用率)	令和2年度実績 113.8%	令和3年度実績 118.8%	令和4年度見込 117.0%	令和5年度目標 120.0%
特養+短期入所 (平均利用率)	令和2年度実績 99.3%	令和3年度実績 100.2%	令和4年度見込 101.0%	令和5年度目標 102.0%
通所介護 (一日当たり平均利用者数)	令和2年度実績 40.6人	令和3年度実績 41.2人	令和4年度見込 42.2人	令和5年度目標 43.0人
居宅介護支援事業① (月平均保有件数)	令和2年度実績 89.7件	令和3年度実績 93.7件	令和4年度見込 104.0件	令和5年度目標 110.0件
居宅介護支援事業② (月平均保有件数)	令和2年度実績 107.9件	令和3年度実績 112.0件	令和4年度見込 127.0件	令和5年度目標 137.0件
訪問介護 (月平均訪問時間数)	令和2年度実績 618.0時間	令和3年度実績 610.0時間	令和4年度見込 627.0時間	令和5年度目標 650.0時間
地域包括支援センター (予防給付管理数)	令和2年度実績 3731件	令和3年度実績 3751件	令和4年度見込 3780件	令和5年度目標 3800件

【施設・設備整備計画】

上半期		下半期	
物件名 (購入・工事)	予算 (千円)	物件名 (購入・工事)	予算
勤怠システム	1,000	屋上 温水器交換	6,000
誘導灯交換 (消防設備)	2,000		

事業計画

拠点名	愛しや老健
実施事業	介護老人保健施設、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション

【重点運営目標】

愛しや老健拠点では、老健・短期入所療養介護を合わせた入所部門と通所リハビリ部門を定員数最大限フル稼働し、訪問リハビリで利用者数やサービス提供単位数を増やすことで収益の拡大を図ります。また、入所部門においては、ベッド回転率を上げて短期集中・認知症短期集中リハビリテーション加算の算定率をあげてまいります。費用の節減については、備品等を法人グループの一括購入とすることでコスト削減を図り、SPDによる無駄な在庫の削減も進めてまいります。

①入所部門：ベッドを回転させながら稼働率も維持できるようにすることで、短期集中・認知症短期集中リハビリテーション加算の算定数を増やし収益増を図ってまいります。多職種間での情報共有や連携を図ることでケアの質を高めていけるよう、ICTも活用しながら情報を一元化して生けるようにしてまいります。

②通所リハビリ：空き情報を常時ケアマネジャーや既存に利用者へ伝え、一日一日の単位で定員の空きを埋められるよう利用を促してまいります。

③訪問リハビリ：子育てや時短勤務によって訪問として稼働できていないセラピストの時間もあるため、訪問既存のセラピストが最大限稼働してリハビリテーションの単位を提供できるように、勤務体制を整備してまいります。

【サービス別稼働目標】

介護老人保健施設(短期含) (平均利用率)	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
	95.7%	94.9%	94.8%	96.0%
通所リハビリテーション (一日当たり平均利用者数)	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
	40.3	40.4	42.6	42
訪問リハビリテーション (月平均提供単位数)	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
	138.8単位	165.9単位	157.8単位	160単位

【施設・設備整備計画】

上半期		下半期	
物件名 (購入・工事)	予算 (千円)	物件名 (購入・工事)	予算 (千円)
勤怠システム	1,000	電動ベッド	3,000
ウッドデッキ補修	1,000		
LED電球	4,000		